

ガラスにまつわるエトセトラ

妖精の森ガラス美術館 三浦 和

前回から引き続きガラス瓶工場、山村製壺所へ見学に伺った時のお話をさせていただきます。

ガラス瓶の基本的な生産工程(制作手順)は型に柔らかいガラスを入れて空気で膨ませ、型に沿わせて瓶のかたちに成形していくのですが、機械で作っていくのでスピードが速く、目では追えない程速い工程もありました。

見学に伺う前は、工場では生産工程をほとんどコンピュータ制御で管理していると思っていたのですが、山村製壺所では各所で必ず人がチェック、調整をしていました。

ここでは特殊なカタチをオーダーで生産することもあるとお聞きして、技術が発達した現代でもやはり人の目や手にしかできないことがあり、それを成すためには職人さんの熟練した技術が必要だということも実感しました。

案内していただいた方々とお話の中で、細部へのこだわりや、依頼主からのオーダーをできるだけ良い作品、製品にしていくための可能性の追求といった意見をお聞きして、会社一丸となってより良いものをつくってきたいというスタッフの方々の熱意が伝わってきました。そして合理的でないかもしれませんが、昔からの技術の継承というのは大切なことで今後も守っていくべきことだなと思いました。

後日、会社にお礼のご連絡をすると社長さんが「細かい部分が違っていてもガラスという共通素材で『ものづくり』を志す者として、今後も情報交換しながら切磋琢磨していければいいですね。」とおっしゃっていただき、改めてものづくりの面白さと、そこから繋がった人々のご縁の有難さ、温かさを実感した日でした。

社長さんをはじめ、山村製壺所のスタッフの皆様、お忙しい中丁寧に対応していただきありがとうございました。



製びんの現場。型から出たガラスはコンベアで次の工程場所に運ばれていく。



冷めて出てきたガラス瓶。これから厳しい品質チェックが待っている。

お問い合わせ先 妖精の森ガラス美術館 電話(0868)44-7888

鏡野町有線テレビからのお知らせ

告知放送受信機の電池交換方法



本体左下のカバーを外し、単三乾電池4本を交換してください。

電源ランプ

緊急時の行政情報や地域のお知らせをするための告知放送受信機は、停電時でも放送を聞けるように、**単三乾電池4本が必要**です。

告知放送受信機の電源ランプが点滅している場合は、乾電池の容量が少なくなっている可能性がありますので、乾電池の交換をお願いします。

乾電池を交換しても緑色の電源ランプが点滅している場合は、鏡野町有線テレビへご連絡ください。

お問い合わせ先 鏡野町有線テレビ

電話(0868)52-2213 FAX(0868)52-9080

お問い合わせ時間：午前9時～午後5時
(土・日・祝日、夏季休暇、年末年始休暇を除く)

※鏡野町有線テレビは、平成27年4月1日から鏡野光サービス(株)が維持・運営を行っています。

<http://www.mto.ne.jp/>

農家民宿説明会のご案内

近年、都市住民のゆとり・やすらぎを求める動きとともに、農林漁業体験や農山漁村の生活体験を通じて、自然・文化・人々との交流を図る都市農村交流が注目されています。また、都市農村交流は、農山漁村の活性化の手法として、とりわけ農家民宿は農山漁村のありのままの生活や地域の魅力を発信するための手法として全国に広まっています。

鏡野町にあっても、地域の活性化は重要な課題でありますので、農家民宿の開業についての説明会を開催し、魅力ある地域づくりを進めてまいります。開業してみたい方、また、開業は無理だけど、農林業体験は受けれるぞという方など多くの皆様のご参加をお待ちしております。

日 程 9月27日(水) 午後1時30分
場 所 鏡野町役場・危機管理センター

内 容 「農家民宿をはじめよう」岡山県農林水産事業部農村振興課「農家民宿をはじめよう」農家民宿ひらぎ・安藤様
その他・質疑応答

お問い合わせ先

鏡野町産業観光課 電話(0868)54-26007